

水棲ガメの飼い方

水棲ガメと楽しく暮らすために!

主な種類



ニシキマゲクビガメ

美しい人気種、頭に黄色の太い筋模様が入る。飼育も容易。
最大甲長:約25cm



キボシシガメ

オスよりもメスの方が大きい。甲羅の黄色い斑点が星を散りばめたように見える鮮やかな色彩。
最大甲長:約10cm



ニシクイガメ

頭部のラインがくっきり美しい、小さいときから頭部が大きくかわいい人気種。
最大甲長:約15cm



カプトニオイガメ

ドコガメの仲間。甲羅に放射状の褐色の筋模様が入る。日光浴を特に好む。
最大甲長:約15cm



ダイヤモンドガメ

キスイガメとも呼ばれる。黄色から真っ黒まで色彩が様々な美しいカメ。
最大甲長:約20cm



ニホンシガメ

日本の本州、四国、九州などに生息する固有種。子供のときはゼニガメと呼ばれる。
最大甲長:約20cm



●水棲ガメの仲間は次のように分けられます。

- ①半水棲ガメ 水中と陸地の両方で生活し、カメの中でも最も種類が多い。上記の6種もこの分類に入ります。
- ②水棲ガメ 水中をスイスイ泳ぎ、ほとんど水の中で生活する種類。スッポンやワニガメなど。

※他に水中にいるよりも湿度の多い陸地で生活するハコガメやヤマガメの仲間もいます。

こんな場合は…

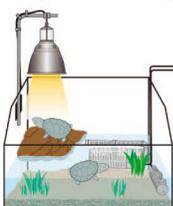
皮膚に白いモロがついている
めくれている

甲羅が
やわらかい

目のあたりが
おかしい

糞が出ない、あるいは
下痢気味である

水が汚れている、日光浴不足が考えられます。まめな水換えや十分な日光浴をさせてあげて快適な環境を作ってください。



こんな症状の他、少しでもおかしいと感じたら爬虫類を診てくれる動物病院へ連れて行きましょう。早目に連れて行くことで症状も早く回復します。1日でも長く一緒に暮らせるように、毎日、変わった所はないかしっかりチェックしましょう。



ペットは最後まで責任を持って飼育しましょう。

※池や川に捨てないで!生態系を乱す原因となります。

生き物を触った後は必ず手を洗いましょう。



当社はより一層の品質向上をめざし、ペット用品メーカーとして初めて、品質保証の国際規格であるISO9001の認証を取得しました。

EXO TERRA専用ホームページ

www.gex-fp.co.jp/exoterra 充実の動画コンテンツ!

■新商品の情報はこちらを [click](#)

エキソテラ

検索

このやさしさを人と社会へ
GEX ジェックス株式会社



Aquatic Turtle

カメは爬虫類に分類され、カメの仲間は約300種類と言われています。その中でも水棲ガメの種類(特に半水棲ガメ)は全体の約3分の2と最も多くの種類がいます。

飼育上、大切なことは水場と陸地(浮島など)を作る事です。飼育温度は28℃前後を保つようにしましょう。排泄物が多いので水質が汚れやすく病気の原因になりますので、こまめな水換えを心掛けます。

水棲ガメの飼い方

えさ

消化吸収のよい人工フードを与えましょう。腸内の善玉菌を増やすイースト菌、カルシウムを配合したEXO-TERRAタートルフードがオススメです。成長段階に合わせたフードを与えることにより水棲ガメを健康に育てられます。人工フード以外を与える場合には、丈夫な甲羅や骨の形成のためにビタミン類やカルシウムの補給も重要です。



底砂

飼育する種類に合わせて用意してください。えさと一緒に口に入っても安全なサイズや素材のもの、または口に入らないサイズのものを選んでください。

水槽

成長したときの甲長に合わせて始めから大きめの水槽を用意することをおすすめします。水位が高すぎると、脱走する恐れがあるので気を付けましょう。



水質調整剤

水槽立ち上げ時やメンテナンス時には必ずカルキぬぎを行った水を使用してください。バクテリアの働きでフン等の沈殿物汚れを分解、ニオイを抑える水質調整剤を入れることでメンテナンスを軽減させることができます。



お手入れ用品

オーナメントの汚れや、水槽についたカルシウム・石灰汚れをきれいに落とすことができます。しっかり水洗いした後に設置し直してください。爬虫類専用なので安心です。



アクセサリ

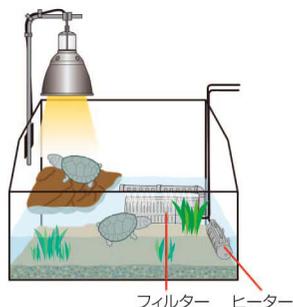
甲長の3倍の浮島を用意することで、快適なバスキングスポットを作ることができます。水中のアクセントとしてアクセサリを入れることで水棲ガメの水中での隠れ家や休憩スポットにもなります。



<ディスプレイ例> タートルテラリウム450 (幅45cmタイプ)

ヒーター・フィルター

冬場には水中設置タイプのヒーターをお使いください。ヒーター使用中は水が蒸発しやすいので水位には注意してください。水棲ガメは水を汚しやすいのでフィルターを用意して、水をきれいに保ちましょう。水が汚れていると水が飲めず脱水症状になります。



有効紫外線

丈夫な甲羅を保つには紫外線 (UVB) が不可欠です。太陽光の代わりになる紫外線ランプを灯ける事は健康に育てるためにも必要です。

照射器具：ライトドーム (ライトブラケット)
紫外線ランプ：レプタイルUVB100



ライティング

冬場は状況により、自然光に近い光を設置することで日中の活動環境を整えます。水が直接かからない位置に設置してください。

照射器具：ライトドーム (ライトブラケット)、グロースタンド
白熱球：スワンプグロー



温度計

水棲ガメに快適な温度・水温を保てるよう、温度計でチェックしましょう。

ホットスポット 28~32℃を目安に
水温 24~28℃を目安に
※生体によって最適な温度は変わります。

水棲ガメの体を知ろう

